

観光客誘致に向けた体制整備を

答 まち巡りプログラム、体験型コースを実施



赤嶺奈津江 議員

問 観光協会を中心とした観光コースや琉球かすり会館を活用した体験型コースが必要である。受入体制はどうなっているか。

副町長 観光協会は「まち巡りプログラム」として、「字の歴史を巡るまちまーい」や「かすりの道めぐり」、「古民家でお茶会」などを実施している。体験型コースとして、琉球絣事業協同組合では織り体験（絣コースター織り）などを実施している。

問 南風原町は宿泊場所が少ない。空家を利用し、宿泊所として活用することができないか。

副町長 空家等の情報があればその物件の状態などと併せて民泊所としての活用方法について情報整理や研究等を検討していきたい。

▼古民家でお茶会



▲かすり会館では体験・見学ができます

小中学校の環境整備は

問 南風原中体育館ピロティをターゲットに整備できないか。

教育長 前向きに検討していく。

問 湿気の多い時期などは廊下が濡れることが多い。子どもが滑ってけがをした等の事故報告はあるか。

教育長 児童生徒が廊下で滑り、けがをしたとの報告が2件あった。

問 湿気対策として全教室に空調設備を入れることはできないか。

教育長 すぐに対応するのは厳しいが生徒の安全・安心の観点からは今後調査研究する必要があると認識している。

問 北丘小学校の正門入口以外で、車が通ることのできる通学路の整備ができないか。

教育長 緊急時の進入路が正門以外にも必要と認識している。鋭意調査していきたい。

町長 教育委員会と歩調を合わせて進めたい。